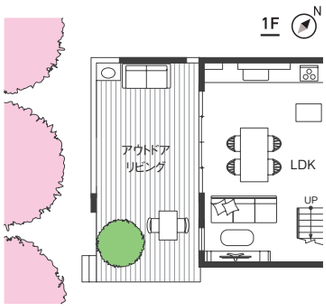
開放的なセカンドＬＤＫ。屋根のない部分にも、暑い夏にはタープをかけて日差しを避けられる。水栓付きでバーベキューにも便利

CASE 3
OUTDOOR LDK

部屋の外でもリラックス 居心地のよい第二のリビング

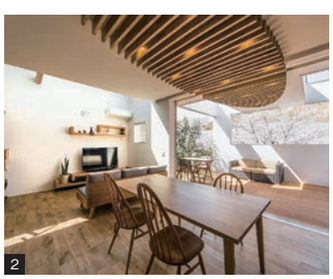
空が広いのどかな住宅地の一角、桜並木が続く川沿いにＫ邸はある。「この桜並木を一年中感じられる空間をつくりたい」。そんな思いで、ＬＤＫからフラットにつながるアウトドアリビングを設けた。眺めるだけのガーデンではなく、年に数回しか使わない野ざらしのテラスでもない。屋外用のテーブル&チェアやソファ、バーベキューに便利な水栓まで備え、「室内との境目を忘れて、毎日当たり前のように自然に使える、そんな第二のリビングを目指しました」

適度な高さの壁を設けてあるので、子どもだけで室外に出ても、家の外まで出る心配はなく、自由に遊ばせられる。「室内のような安心感と、心地よい外の空気感を併せ持つ、最高のリビングになりました」



DATA

- 家族構成／夫40代、妻40代、子ども2人
- 敷地面積／162.31㎡
- 延床面積／106.45㎡
- 設計監理／seki.design
- case3撮影／福澤昭嘉


2

1

1．道路に面した外観正面には窓がなく、室内の開放感とは対照的なシンプルなデザイン。反対側には川沿いの美しい桜並木が続く　2．フルオープンサッシを採用し、中と外で床材を同じ方向に敷くことでLDKとのつながりをもたせた。楕円形の天井のデザインにも、中と外の空間につながりを生む効果がある